

だいじょうぶ。ともにあるこう。(2017. 5. 9)

三鷹市議会議員

野村 羊子

のむら
ようこ



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.99

■いのちが大事、どんぐり山存続を求める要望書提出！

4/24(月)、いのちが大事(野村羊子、嶋崎英治、伊沢けい子)は、下記抗議・要望書を三鷹市に提出しました。3月の議会での市の答弁が、事実関係の重要な情報を提示していなかったことが、明らかになったからです。議会では、市側の姿勢を追及します。介護が困難な方、低所得の方などを引き受けてきた施設、本当に代替えがきくのでしょうか？市民の財産である市立の特別養護老人ホームの存続/廃止を、市民説明会も開かずに決めることも問題です。



三鷹市立特別養護老人ホームどんぐり山・高齢者センターどんぐり山廃止に係る 事実関係の説明における情報の隠蔽に抗議し、施設の維持継続を求める要望

三鷹市は、去る2017年3月7日厚生委員会において、三鷹市立特別養護老人ホームどんぐり山及び高齢者センターどんぐり山について、廃止の方向で検討するとの報告を行った。理由は施設の老朽化による維持経費の増大、施設規模が小さく運営効率化が困難であることとした。

厚生委員会に先立つ3月6日には、総務委員会において、補正予算の審査が行われ、その中にはどんぐり山の空調設備改修工事費を当初より縮小することも含まれていた。しかし、その説明や答弁では、当施設が廃止の方向で検討されていることに一切触れられなかった。このことは、審査に係る重要な情報提供を怠るものである。

さらに予算審査特別委員会において、廃止の理由を、どんぐり山の指定管理者である社会福祉法人楽山会の理事長から高齢だから撤退したいとの申し出があったとし、理事長は数回の懇談で「できるだけ早く(撤退したい)」という意向で、廃止の結論に「ほっとしているだろう」旨の答弁があった。

しかし、この答弁は4月20日付で楽山会から議員宛に提供された資料によれば、事実とは異なるものである。楽山会は三鷹市長に対し、「三鷹市特別養護老人ホームどんぐり山及び三鷹市立高齢者センターどんぐり山の次期指定管理の辞退について(2015年

12月3日)」で、次期指定管理の辞退と社会福祉法人三鷹市社会福祉事業団への承継を要望した。

その内実は、施設の廃止などを求めるものではなく、三鷹市による経営改善の指導が限界を超えており、経営継続可能な指定管理料の設定を求めるものであった。これは、2016年4月に、三鷹市よりどんぐり山自体の廃止を告げられるや、「どんぐり山の指定管理の継続について(2016年5月30日)」でどんぐり山の存続と指定管理受託継続の申し出を行い、再度「どんぐり山の指定管理の継続について(6月27日)」で指定管理継続についての協議を申し出ていることから明らかである。

2017年第1回定例会の各委員会における説明や答弁では、この楽山会からの申し出については一切触れられておらず、逆に、12月の辞退の申し出のみをことさらに取り上げて答弁しており、情報を隠蔽し事実誤認をさせるものであった。委員会は事実とは異なることを前提に審査することとなり、結果的に、議会の議決にも影響を及ぼしたといわざるを得ない。

三鷹市議会いのちが大事は、このような理事者の不適切な答弁に抗議するとともに、答弁修正を求める。その上で、三鷹市立特別養護老人ホーム及び高齢者センター継続を申し出ている楽山会の意向を踏まえた協議を行い、市民のセーフティネットとして機能している三鷹市立特別養護老人ホームどんぐり山と高齢者センターの維持継続を求めるものである。



4/8(土) いっしょ広場春
つくろう 子どもの居場所 みんなの居場所



映画「さとにきたらええやん」上映会。



北村さんのトークがやはり良かった！ホームレスとは、物理的なハウスの有無にかかわらず、安心できるホームがないということ。統計には関係性の貧困がないが、それが重要。特定のスペースがなくても、親身になって受け止める大人が子どもたちの「道親」になればいい。等大事にしていきたい言葉が沢山！交流会にも多くの方がご参加いただきありがとうございました。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会

2016年収支報告書



I 収入総額		
1	前年度繰越金	1,472,861
2	本年の収入額	834,761
	(会費)	76,000
	(寄附)	758,724
	(その他)	37
	1~2の計	2,307,622
II 支出総額		
1	経常経費	1,031,309
	(備品消耗費)	7,344
	(事務所費)	1,023,965
2	政治活動費	272,513
	(組織活動費)	33,237
	(宣伝事業費)	239,276
	1~2の計	1,303,822
III 翌年への繰越金額		
	I-II	1,003,800

■臨時議会5/10(水)~11(木) 予定

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No99
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net
Url: http://www.nomura-yoko.net
Twitter: @hitujinomura



■福島原発震災情報連絡センター総会・被災地スタディツアー4/25~26



○研修 被災6年を過ぎた3月末、富岡町や飯舘村などの避難指示が解除となりました。また、自主避難者の住宅支援が3月末で打ち切りになりました。

広野・楡葉は避難指示解除から1年以上が経ちますが1~2割程度しか帰還していません。帰還しない人たちは自主避難者となり、住宅支援打ち切りの対象になっていきます。応急仮設住宅や雇用促進住宅等からの転出を迫られ、更なる被害/悲劇が起きている実態を伺いました。

1、福島原発事故から6年一被害の現状と被害者救済：武藤類子（福島原発告訴団団長、3.11甲状腺がん子ども基金副代表理事）

2、福島県からの報告一・避難指示区域外を含む避難者および避難者支援施策の現状と課題（福島県避難地域復興局避難者支援課、生活拠点課）

・県民健康調査甲状腺検査および検討委員会・甲状腺検査評価委員会（福島県保健福祉部県民健康調査課）

3、避難の協同センターから避難者支援の現状と課題（瀬戸大作：事務局長）

○楡葉町~富岡町~大熊町視察(マイクロバス)一避難指示解除準備区域の解除後とこれから解除する区域の定点観測。ガイド：富岡町3.11を語る

会中山弘子さん、小幡ますみ大熊町議。

●楡葉町、天神岬。フレコンバック置き



場には巨大な仮設減容化施設が建ち、フレコンバックの詰め替え等の作業を行っている。●富岡町一富岡駅・富岡商店街・夜ノ森公園。元の駅の北側に新しいバス停とロータリーができていた。新しい駅舎も建設中。常磐線を通すため、線路枠の



雑木林を切ってしまう等の除染作業が続いているという。●大熊町。今はプレハブの町役

場。避難指示解除に向け新庁舎建設計画が進行中。

●いわき放射能市民測定室たらちね。βラボと6月開業予定の検診センターを見学した。